

# Kyoto Hollywood News 京都ハリウッド通信

# ひとつつ屋根の下。 小梅が暴漢に襲われる!



フジテレビ 「剣客商売」

中央写真 視聴率男・藤田まこと主演の本格時代劇。今から期待大!  
上、下写真 大路恵美がメッタ打ち! 頬に付けられた傷のメイクも痛々しい

かのフジテレビの「月9」で、2シリーズも放映された大好評ドラマ「ひとつつ屋根の下」の中で、江口洋介、福山雅治、酒井忠子らと共演、非常に難しい役柄である小梅役を好演した大路恵美が、京都・大覚寺で夜間、暴漢に襲われメッタ打ちにされた! これは来

年よりフジテレビで放送予定の藤田まこと主演「剣客商売」の撮影での出来事。  
若侍姿の大路が夜道を歩いていると突如、頭上から網を被せられ身動きが出来なくなるところを、覆面をした謎の侍たちにメッタ打ちにされ、藤田まことに助けられる場面。

大路は1月の冷たい地面に倒れ、刀の鞘で打たれたり蹴られたりと散々な目に。  
オンエアの時期は未定だが、小梅の楚々とした役から、りりしい若侍姿へと、がらりとイメージが変わって別人のような大路の出で立ち。今から要チェック。

## 三船敏郎

## 伊丹十三逝く...

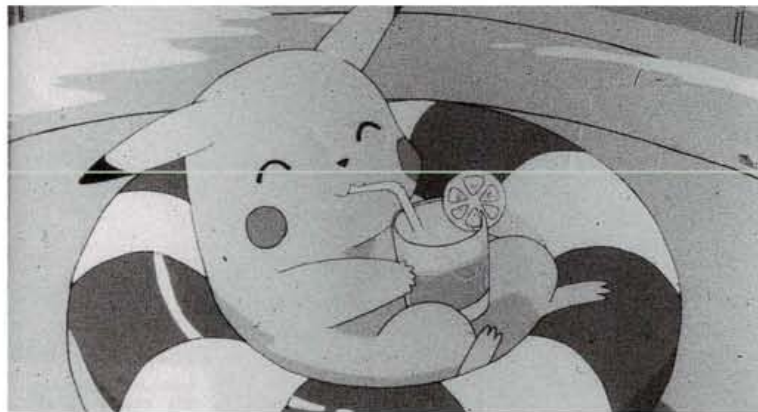
### 京都が生んだ世界の名優・巨匠を偲ぶ



「七人の侍」など黒沢明監督の名作に主演した世界のミフネこと三船敏郎と、「マルサの女」など社会派エンターテインメントでヒットを連発した伊丹十三監督が昨年末、相次いで他界された。  
黒沢監督と三船が世界的に有名となったのは、ここ京都で撮影された「羅生門」(50年・大映京都作品)がベネチア映画祭グランプリ、アカデミー賞最優秀外国映画賞を受賞したのが発端であった。また伊丹監督も京都市右京区鳴滝の生まれで、父親は京都映画界の重鎮であった巨匠・伊丹万作監督なのである。  
両名とも、まさに京都が生んだ偉大な才能と言えるだろう。心より哀悼を祈る。



黒沢明監督と三船敏郎が、世界のクロスワ・ミフネとなった「羅生門」は、大映ビデオより発売中



# ポがケんモばンれやめカチユウ!!

昨年、テレビ界を騒がせた「ポケモン」事件は記憶に新しいが、どうも納得できない記事も目立つ。つまり、ポケモンを見ていた子供が被害を受けた！ポケモンが悪い！だからアニメやゲームは有害との論調が、この種の事件があると、必ず識者と称する偽善者風の人間から発言される。

でも今回の事件も、通称バカバカと呼ばれるアニメの特殊技術が問題なのであって、作品にはなんの関係もないことが原因のようなのだ。確かに被害を受けた大勢の方々は、心から症状のご回復をお祈りするが、これからポケモンが放送打ち切りの事態となれば、番組を楽しみにしている子供達、あまりにも可哀想だ。

京都の任天堂が生んだ全国のアイドル・ピカチュウも泣いている。がんばれピカチュウーポケモンやめないで！

## 今月の言葉

三船・伊丹両名の訃報やポケモン騒動と、昨年は年末に京都関連の映像や映画人の悲しいニュースが集った。その反面、春にむけて例年にならぬ作品本数の多さとなり、京都映画

界は大車輪の忙しさとなっている。本誌が発売されるころには、小生も元橋編集長とロケーション・コーディネーターを担当するフジテレビ・金曜エンタテイメントの撮影が開始され、多忙となっている予定。また昨年プロデュースの「江戸の淫霊」に続く新作映画の企画も着々と進行中。

当コーナーも月刊となり、これまでに以上京都映画界の魅力を余す所無くレポートするぞ！

1998年3月1日  
山田誠二

# スーパー時代劇の現場はスーパー・ハード？

## くノ一外伝「柳生忍法帖」



くノ一の頭・お千絵を演じる森山祐子



くノ一軍団が数々の奇様な敵を倒すアクションの数々は最新SFXで表現

キングレコード製作の人気シリーズ「くノ一忍法帖」の最新作「柳生忍法帖」が昨年末より松竹京都映画で撮影されている。今回は劇場公開用の3時間大作で、脚本・監督・主演は小沢仁志、スーパーバイザーはSFコミックの大家・寺沢武一。そして主演女優はカルトな人気を誇るSFXムービーの傑作「セイラム」で有名な森山祐子。

本作はSFXを駆使したスーパーアクションが随所に盛り込まれ、撮影もこれまでにない時間と手間が必要。そのためスタッフは連日徹夜続きで、最長27時間連続労働を記録。朝9時から深夜4時の作業が当たり前。スーパー・ハードなスケジュールで、スーパー時代劇に挑んでいる。公開は5月の予定。



柳生十兵衛に扮した脚本・監督・主演の小沢仁志



©任天堂・小学館プロダクション・テレビ東京

# 忘れられない、京都の名画劇場「釈迦」(61年・大映京都作品)

「風とともに去りぬ」や「2001年宇宙の旅」など、洋画には70ミリ大作が数多くある。70ミリとは、簡単に言えば撮影に使用されるフィルムのサイズ。通常の映画はみなさんの身近にある、スナップ・カメラに入れる35ミリサイズのフィルムを使用している。

だが、大劇場のスクリーンに映写される大作では、35ミリの倍、面積にして4倍ある70ミリフィルムを使用。それによって35ミリで撮影された作品よりも鮮明に、さらに大画面での映写が可能となるのだ。

洋画では珍しくない70ミリ作品だが、日本では現在までに、たった3本しか製作されていない。理由は簡単。大画面にふさわしい内容を要求され、ケタ違いの製作費が必要となるからだ。しかも日本には70ミリフィルムの現像をする設備がなく、わざわざイギリス、ロンドンの現像所にフィルムを空輸して依頼しなければならなかった。

それらは日本では不可能とあきらめていた70ミリ作品の第一号、それは京都で製作された。製作は今も残す名物男、水田雅一。デュースは大映社長で、映画史にその名を残す名物男、水田雅一。そして監督は勝新太郎や市川雷蔵主演の傑作時代劇を生んだ巨匠・三隅研次。

製作費は当時の金額で5億円を投入。クライマックスの大地震の場面は、福知山市長日野の自衛隊演習場に、2万平方メートルのセットを建設。1万5千人のエキストラを動員するなど、空前のスケールで行われた。水田は空輸されるフィルムに製作費と同額の保険を掛けた。そしてロンドンの現像所に赴き、映写されるフィルムを見て、ハンケチで流れる涙を拭いたという。



京都の映画人が総力を結集した超大作「釈迦」は、大映ビデオより発売中



三隅研次監督  
市川雷蔵・山本富士子・勝新太郎・水田雅一



## 特報！京極夏彦「嘘う伊右衛門」京都で映画化！

「嘘う伊右衛門」は中央公論社より本体1900円+税にて発売中

「嘘う伊右衛門」は、京極夏彦の作品が初の映像化！作品は「嘘う伊右衛門」。松竹京都映画で6月より撮影が開始される。出演は中井貴一、宮沢りえが予定されており、完成後は松竹系のシネマ・ジャパネスクで公開される。当コーナーでは順次、詳細を報告の予定。乞うご期待！

京極夏彦